

前幹部挨拶並びに新幹部紹介

2021年11月6日に幹部交代式を挙行し、第58代から第59代に幹部交代いたしました。
つきましては、前幹部よりご挨拶と、新幹部の紹介をさせていただきます。

1.前幹部挨拶

1年間、幹部の仕事を全うできたのも監督・コーチ・トレーナーの皆様をはじめ、保護者やOB・OGの皆様のお力添えのお陰であると確信しています。第58代を代表して厚く御礼申し上げます。

前幹部の我々58代は幹部就任当初から大きな壁にぶつかりました。それは新型コロナウイルスでした。世界中が未曾有の事態に混乱し生活が一変するなかで、我が部の活動も例外ではなく、練習の制限や行事の中止など、皆が歯痒い思いをしてきました。しかし、この状況をただ嘆くのではなく、皆で日夜試行錯誤し、新しい取り組みに挑戦してきました。

幹部としての1年間、嬉しいことや辛いことを経験し、その度に成長を実感することができました。そして頼りない私をいつも支え・育ててくださった指導者の皆様や同期・先輩・後輩には感謝の気持ちで一杯です。今思い返すと幹部の1年間は私にとって「大変」ではなく、「大切」な1年間だったのだと心から感じます。

幹部を交代しても、様々な思いの詰まったこの部を守り・育てていくため、最後まで尽力する所存です。
我が部が“世界一のチーム”になるためにも、今後ともご支援・ご声援のほど宜しくお願い申し上げます。

前幹部代表 第58代主将 森内 空良

2.新幹部紹介

○主将 森岡 勇翔（もりおか ゆうと）社会学部社会学科 神戸市立葺合高等学校卒 初段

この度、主将という大役を務めさせていただくことを大変光栄に思うとともに、責務を全うする重大さやプレッシャーを感じ、死に物狂いで頑張らねばと思います。

昨今の社会情勢のなか、今まで「当たり前」だったものがそうではなくなっています。部活動の運営も例外ではありません。こうした困難な状況ですが、「できない言い訳」を探すのではなく、「どうすればできるようになるか」知恵を絞って前向きな運営を行っていきたいと思います。

そして部のリーダーとして、誰よりも少林寺拳法、そして部員一人ひとりに対して真摯に向き合い更なる部の発展を目指していく所存です。

○副将兼会計 柳田 健太（やなぎだ けんた）生命医科学部医情報学科 愛知県立松陰高等学校卒 初段

副将として、部の様々な部分に目を向けて部員全員がより「楽しく、活気あふれ、高みを目指す」そのような集団にできるよう日々努力して参ります。また、副将と会計を勤め上げるためにも、他の同期と協力し合いながら精進して参ります。

○主務兼広報 村上 修弥（むらかみ なおや）理工学部インテリジェント情報工学科 同志社国際高等学校卒 初段

主務としては、周囲と連携、協力しながら円滑に部活動を行えるように努め、また広報としては、部の状況や魅力をより多くの人に知っていただけるように発信して参ります。そして、主務兼広報として日々成長しながら様々な形で部に貢献できるよう、誠心誠意励んで参ります。

○統制長 上辻 奏人（かみつじ かなと）心理学部心理学科 大阪府立三島高等学校卒 初段

統制長とは部員を技術、精神のどちらの面からもサポートする役職です。

技術の面では経験者に及ばない部分も多々あると思いますが、だからこそ例年以上に部員一人ひとりに寄り添える存在になりたいと考えています。

「部のオカン」となるべく、精進して参ります。

○管財 河野 祐弥（こうの ゆうや）理工学部機能分子・生命化学科 山口県立宇部高等学校卒 初段

管財は主将や副将ほど注目を浴びる役職ではありませんが、部の備品を守り、部員の日々の修練における安全を確保する、必要不可欠な役職だと考えております。今年は先代の平野さんが行ってこられた事を引き継ぎ、攻めの管財として1年間精進して参ります。

○渉外長 市橋 義紀（いちはし よしり）理工学部電子工学科 常翔学園高等学校卒 初段

渉外長は、いつもご支援いただいているOB・OGや外部の方々と、現役部員の橋渡しをする重要な役職です。渉外長は心配りが重要で、いつ、誰に、どの情報を、どのように伝えるか、受け取り手のことを考えて、誠心誠意務めて参ります。

○広報 権 萌々子（ごん ももこ）心理学部心理学科 Doshisha International School,Kyoto卒 初段

広報とは、我が部の活動をOB・OG、保護者、外部の方々に発信し繋ぐために重要な役職です。そのため、見ていただいている方に部の日常や魅力を様々な視点から届けられるよう、より正確に、活発に、迅速に発信ができるよう一生懸命務めて参ります。



左：第58代幹部 右：第59代幹部